道ばたに見る春の草たら

市街地の生誌の 広瀬重夫

キュウリグサ





キュウリグサ

写真1(上):4月,灘区.花.

写真2(右):2月,中央区.ロゼット.

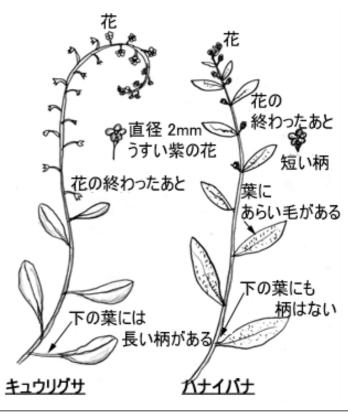
ロゼット(写真 2)は,地面近くに,長短の柄の先に重なりをさけるようにして四方八方に葉を広げ,冬の日射しをしっかり受け止め,花の時期を待っています.

うすい紫色の小さな花をつけた茎は、はじめ、柴犬のしっぽのように巻きこんでいますが、花が開くにしたがって、下からほどけるようにして、次々と花が咲き上がっていきます.春早くから咲きはじめ、5月の終わりごろでも花の残っていることがあります.よく似たものにハナイバナがありますが、市街地ではめったに見られません.宝さがしのつもりで挑戦してみましょう.

ハナイバナ

写真3(下):4月,灘区.花.





キュウリグサの花序(花のつきかた)とは違って、先が巻くことはなく、葉の形をした苞(ほう)のわきか、それらの間につくので区別できます。花はキュウリグサと同じように先が5つにさけていますが、もとの方は筒状です。このような花を合弁花といいます。ムラサキ科というなかまに入れられています。

このページのPDFファイル



トップページへもどる